

第5期みやぎ観光戦略プランの基本理念

ウィズコロナ・ポストコロナへの対応とともに、デジタル変革を進め、地域内外から選ばれる持続可能な観光地域づくり



# みやぎの観光地域づくり



～地域内外から選ばれる観光地域を目指して～

仙台・宮城観光PRキャラクター  
むすび丸

## 観光需要の回復に向けた取り組み

### 宮城オルレの推進

各コースイベントの開催や、新規コース造成支援により、オルレの普及を目指します。



オルレイベント(気仙沼・唐桑コース)

### 全国旅行支援の実施

令和5年7月21日までを対象期間として、宿泊割引や地域限定クーポンの付与による宿泊・観光需要喚起策に取り組んでいます。



キャンペーンロゴマーク

### 外国人受け入れ環境の推進

公衆無線LAN機器設置や案内表示の多言語化などを進め、快適な観光をサポートします。



バス車内無線LAN(Wi-Fi対応)

## 新たな観光戦略プランを策定

県は、昨年9月に、令和4年10月から令和7年3月までを計画期間とする「第5期みやぎ観光戦略プラン」を策定しました。

このプランに基づき、ポストコロナにおける観光需要の回復およびその後の成長に向けた取り組みを進めています。

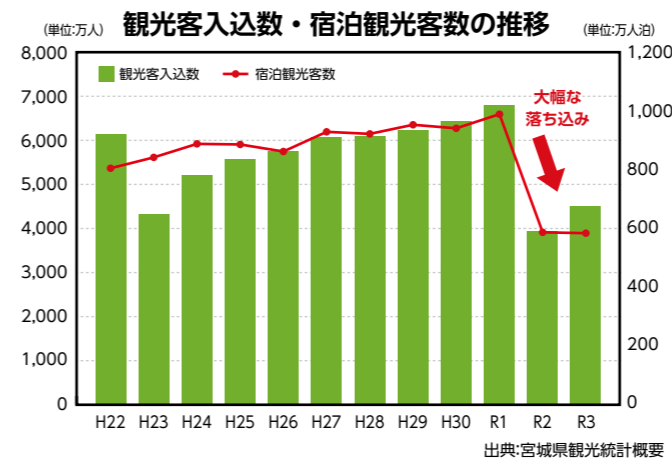
これまで以上に、県民や観光事業者の皆さんと行政が一体となって、持続可能で選ばれる観光地域づくりを目指します。

## 県内の観光の動向

県内の観光客の数は、東日本大震災の影響により、平成23年に前年の約7割まで減少しましたが、その後は順調に回復し、令和元年には過去最高となる約6800万人を記録しました。

また、宿泊観光客数は、復旧・復興関連需要や誘客効果により震災前を上回る水準で推移し、観光客入込数と同様に、令和元年に過去最高となる約990万人泊を達成しました。

しかし、令和2年以降、世界中で大流行した新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言や、感染拡大防止などによる外出自粛、水際対策の強化による入国制限などが行われ、観光客の数は大きく減少しました(下図参照)。



こうした中、落ち込んだ観光需要を喚起する取り組みとして、全国旅行支援などの各施策が実施され、県内外からの観光客が少しずつ戻ってきました。

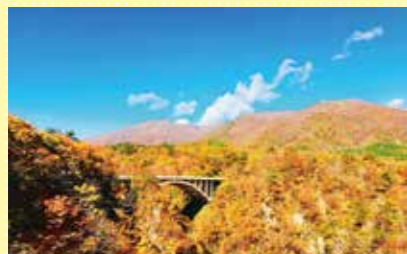
また、昨年10月には、1日当たりの入国者数の上限が撤廃され、今年1月には、仙台国際空港で国際線の定期便が再開されるなど、本県の観光業においても徐々に、感染拡大前の姿を取り戻しつつあります。

令和5年は、これまで以上に観光需要の高まりが期待されることから、県としてさらに力を入れて、選ばれる観光地域づくりに取り組んでいきます。

## 持続可能な観光地域づくりに向けた取り組み

### 観光誘客の推進

地域で発掘・磨き上げた観光資源を活用し、秋・冬期には観光キャンペーンを行うことにより、観光客の誘致促進や宮城のファンを増加を目指します。



「ここ好き宮城秋・冬フォトコンテスト」最優秀賞(秋)受賞作品

### 観光地の周遊促進

デジタル技術を活用して観光地の渋滞状況や混雑状況を「見える化」し、周遊促進を目指します。



WEBサイト(ミヤギナビマップ)

サイトはこちら



昨年度実施した交通社会実験の様子

10月14日および15日に実施予定の松島町交通社会実験で、イベントを開催します。ぜひお越しいただき、ミヤギナビマップもご利用ください。

### 観光人材の育成・確保

インバウンド対応などの研修会を開催し、将来の宮城の観光を担う人材を育成します。



研修会の様子

### 教育旅行の誘致促進

教育旅行等コーディネート支援センターの運営やバス助成金により、県内における教育旅行の受け入れを促進します。



体験型プログラムの様子

### 受け入れ環境の整備

自然公園内の施設や広域観光案内板の整備などを進めます。



観光案内板(鳴子温泉峡)

## 宮城県観光プロモーション推進室

### 【公式】Instagram

県内のおすすめ観光スポット情報や、イベント情報など、旬な情報をお届けしています。



フォローはこちら



## MiWork(みわーく)宮城

### ワーケーションポータルサイト

県内のワークスペースや、宿泊施設などのワーケーションに役立つ情報を掲載しています。



サイトはこちら



観光政策課 ☎022(211)2823